

Kyoto Prefecture Hospital Association News

第9号

2016年8月

京都府病院協会ニュース

《発行所》一般社団法人 京都府病院協会 《発行人》依田 建 吾 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6 京都府医師会館内
TEL 075-354-6104 FAX 075-354-6074 http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/

平成28年度定時総会を開催

平成28年度の定時総会を、6月7日(火) ホテル日航プリンセス京都にて開催、当日は会員病院より22名が参加しました。今回の総会では平成28年度の事業計画・予算を報告するとともに、平成27年度の事業報告・決算、平成28年度会費並びに新役員の選任について議案を上程し、いずれの議案も賛成多数で可決承認されました。

◆新たに2名の理事を選任
副会長には森本泰介氏

第4号議案では理事の選任に関して議案上程し議長より主旨説明を行いました。今回、理事2名が退任することに伴い、新たに小野晋司氏(三菱京都病院)、小西郁生氏(京都医療センター)の2名の新任理事を選任することに承認を求めました。本議案は採決の結果、賛成多数で承認されました。なお、総会終了後、理事会を開催し、三木真司副会長の退任に伴う後任人事として、新たに森本泰介氏を副会長に選出しました。任期は平成28年6月7日～平成29年6月の定時総会終了時の1年間となります。

◆平成28年度通常会費を承認

総会では平成28年度の通常会費

についても審議され、「1病院50,000円」(昨年と同額)とすることを提案し、賛成多数で承認されました。

また、平成27年度の事業報告・決算についても議長ならびに会計担当理事より主旨説明し、倉澤卓也監事による会計監査が行われた後、採決に入り、賛成多数で承認されました。

【平成28年度定時総会議案】

第1号議案

平成27年度一般社団法人京都府病院協会事業報告に関し承認を求める件

第2号議案

平成27年度一般社団法人京都府病院協会決算に関し承認を求める件

第3号議案

平成28年度一般社団法人京都府病院協会通常会費の徴収に関し承認を求める件

第4号議案

一般社団法人京都府病院協会理事の選任に関し承認を求める件

一般社団法人 京都府病院協会 理事・監事

任期 2016年6月定時総会～2017年6月定時総会

会長 依田 建 吾 (京都第一赤十字病院)

副会長 香 川 恵 造 (市立福知山市民病院)

副会長 森 本 泰 介 (京都市立病院)

理事 小 野 晋 司 (三菱京都病院)

理事 北 堅 吉 (日本バプテスト病院)

理事 日下部 虎 夫 (京都第二赤十字病院)

理事 小 西 郁 生 (国立病院機構 京都医療センター)

理事 杉 山 博 (国立病院機構 宇多野病院)

理事 辰 巳 哲 也 (公立南丹病院)

理事 中 村 直 登 (済生会京都府病院)

理事 能 見 伸 八 郎 (京都鞍馬口医療センター)

理事 野 口 雅 滋 (京都桂病院)

理事 宮野前 健 (国立病院機構 南京都病院)

理事 山下 俊 幸 (京都府立洛南病院)

監事 齋 藤 信 雄 (洛和会東寺南病院)

監事 倉 澤 卓 也 (京都予防医学センター)

平成28年度 通常会費について

平成28年度の通常会費については、去る6月7日(火)に開催されました「平成28年度定時総会」におきまして、以下のとおり承認されましたので、お知らせいたします。会員病院宛にご請求させていただきますので、ご丁承のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年度通常会費
50,000円



病院長研修のご案内

平成28年度は
近森病院を見学

毎年恒例の「病院長研修」ですが、今年度は高知県高知市にある近森病院を見学します。近森病院は、1946年に近森外科として開設して2016年で70年目を迎える救急医療を追求してきた病院であり、2014年12月には近森病院全面増改築工事が5カ年の歳月をかけようやく完成されました。研修日程は以下のとおりです。会員病院の先生方におかれましては、是非、ご参加をいただきますようご案内いたします。

見学日時

平成28年11月11日(金)～12日(土)

平成28年度 一般社団法人 京都府病院協会

事業計画について

基本方針

本会は昭和26年4月26日、京都府病院長会として発足しました。その後、昭和39年に京都私立病院協会が分離独立した後、昭和41年6月1日に京都府病院協会と名称を改めました。そして、平成26年7月には、念願でありました法人格を取得し、一般社団法人京都府病院協会として新たなスタートを切りました。法人化して1年余りが経過しましたが、会員病院の皆様のご理解、ご協力のもと順調に会務運営を行うことができました。

末より各医療圏において調整会議が開催され議論が進みつつありますが、まだ明確な方向性が見えていません。本会としても、策定にあたっては、すでに存在している医療機能を十分に把握した上で将来像を考える必要があると考えています。拙速な対応により地域の医療提供体制に混乱を来さないよう引き続き、京都私立病院協会と協同で対応していきます。

平成29年4月から新たな専門医制度がスタートします。昨年、中立的第三者機関である「日本専門医機構」が発足し、「専門研修プログラム」による専門医の育成に向けた準備が進められてきました。この制度は、医師個人の資格制度の問題にとどまらず、地域医療や病院運営への影響も考慮しなければなりません。本制度の根幹である「専門医の質の一層の向上」とともに「地域医療に十分な配慮がなされる」ことも非常に重要な点であると考えています。本制度がより良い制度となるよう今後の動向を注視していきます。

昨年度は本会独自の事業として「地域医療・介護総合確保基金」を活用した勤務環境改善支援事業を実施しました。主な事業として

今年度の重要課題のひとつでもあります「地域医療構想」については、京都府においても今年度中の策定が予定されています。昨年

(1) スペシャル医療クラークの養成
(2) 専門医等の資格取得に関する学会参加支援
(3) 救急蘇生トレーニング機材の貸出の事業を実施し、会員病院への支援を行いました。多くの会員病院にご活用いただきましたが、今年度も引き続き支援できるよう取り組んでいきます。

昨今、医療界は非常に厳しい状況にあります。現に政府は社会保障費の抑制を鮮明に打ち出しております。40兆円を超える医療費への対応を看過することはできませんが、行き過ぎた医療費抑制策は、医療提供体制の崩壊にもつながりかねません。今後も他の医療関係団体とのより深い連携のもと、京都府の医療提供体制の構築に努めてまいります。

平成29年
新春講演会・
懇親会のご案内

平成29年の「新春講演会懇親会」を以下のとおり開催します。会員病院の先生方におかれましては、是非、ご参加をいただきますようご案内いたします。なお、当日は病院事務部の方の参加も歓迎します(参加費を徴収いたします)ので、あわせてご案内いたします。

日時：平成29年1月12日(木)

午後5時00分

(講演会終了後、懇親会)

場所：ホテル日航プリンス京都

地域医療介護総合確保基金による支援事業のご案内

「勤務環境改善支援事業」を実施～是非、ご活用ください～

平成26年度より消費増税分を活用した「地域医療介護総合確保基金」が各都道府県に設置されました。すでに京都府におきましても事業計画が策定され、一部の事業が実施されています。

すでにご案内のとおり、京都府病院協会ではこの基金を活用した「医療機関における勤務環境改善にかかる事業」を申請し、このたび採択されたところです。支援事業の内容は以下のとおりです。各病院におかれましては、是非、本事業をご活用いただき、今後の勤務環境改善に役立ていただければと存じます。事業の詳細については、京都府病院協会：事務局までお問い合わせください。

事業名	事業概要	支援内容
専門医等取得のための学会参加への支援事業	医療関係者のスキルアップのための学会参加を促進することにより、勤務環境の改善を図ることを目的とします。 ★期間：平成28年4月1日～平成29年2月28日までに参加した学会等 ★対象経費：学会等への参加費 ★申請締切：平成29年3月15日まで ★添付書類：学会に参加した証明(受講証)と参加費の領収書	1病院、100,000円を限度に参加費を補助します。 上記費用については、京都府病院協会より直接、医療機関にお支払いします。 また、基金を活用した事業のため、費用の支払いについては年度末あるいは来年度当初のお支払いとなります。
救急蘇生トレーニング機材の貸し出し事業	救急蘇生にかかるトレーニング機材を貸し出し、各病院における研修体制の充実、医療関係者のスキルアップを図ることを目的とします。 ★機材：ALSシミュレータアドバンス ★対象：会員病院 ★申込方法：京都府病院協会：事務局に「利用申請書」を提出	各病院で研修を実施される際に使用する「救急蘇生トレーニング機材」を無料で貸し出しします。